

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度	
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	01 未来を支える人材を育むまちづくり
	小項目	施策	02 小・中学校
事務事業名		15	特色ある学校づくり推進事業
		根拠法令・例規等	
		問担当課(室)	学校教育課
		合職・氏名	指導係長・小郷康弘
		先電話	64-1840
		このシート作成に要した時間	1.5 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市内幼、小・中学校、高等学校
目的(何のために)	学校、園における総合的な学習の時間や生活科などの創意ある取組並びに地域を知り、愛する心を育成する教育活動を支援することを通して、特色ある教育活動の推進を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	各学校園が特色ある学校づくりを推進し、課題解決のための取組を工夫することができる。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績				
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	離島教育振興事業	交流学習に必要な交通費等の支出により、学習活動の充実を図る。		
	特色ある学校づくり補助事業	交流学習や体験学習に必要な教材、講師謝礼、交通費等の支出に係る補助金の支出により、各校園の特色ある活動を支援する。		

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい


事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		6,103	4,993	4,787	
	必要人員(人件費)	千円	0.02人	200	0.03人	220
	事業費		6,303	5,213	5,105	
	国県支出金	千円				
	受益者負担					
繰入金						
その他()						
一般財源		6,303	5,213	5,105		
受益者負担比率	%		0.0%			
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	説明		特色ある学校づくり推進事業に取り組んだ学校数			
	結果指標量	校	29	29	29	
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%	
	活動コスト	円	3,585,000	4,370,000	4,310,000	
単位当たりコスト		123,621	150,690	148,621		

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
事業実施率 (%)	目標値(A)	90	100	100	
	実績値(B)	94	100	100	到達目標値
	達成率(B/A)	104.4%	100.0%	100.0%	
成果指標設定の考え方・式や説明					
事業実施延べ校数 / 対象延べ校数 × 100 (%)					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> B
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A-E> C

留意の目的やその数値目標を達成して下さい

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	ほぼ前年度と同額で実施している。実施に当たって、事業の趣旨等を対象校に説明し、趣旨に沿って適切に事業を実施するよう指導している。					

総合評価	
各学校園がそれぞれの実情を踏まえ、特色ある教育活動を推進するための補助事業であり、学校からの評価も高い。本事業により、郷土を愛する力を育む心の育成も図ることができると考えている。	評価区分 <A-E> B 

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	事業拡充を図ることが理想であるが、市財政状況を踏まえ、今後も予算上は現状維持で実施するが、これまでの取組内容を検証し、一層内容の精選・充実を図る。					